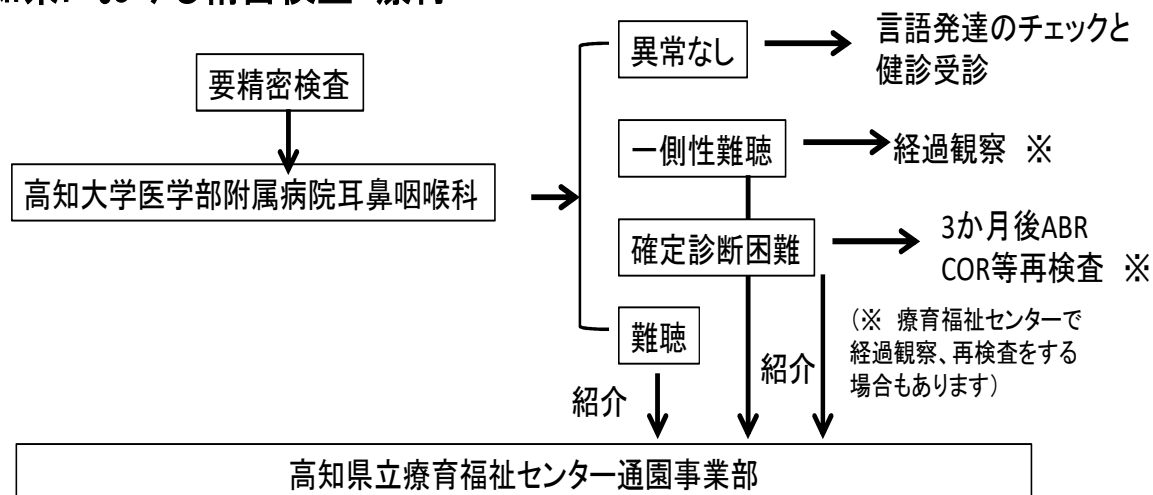


《高知県における精密検査・療育》

- ・精密検査及び以降の流れは以下のようになっています。

高知県における精密検査・療育



- ・難聴に対する療育は、言語（音声言語、手話を問わず）を習得するために行われます。
- ・精密検査の方法の詳細や、療育の実際、難聴児の生活などについては、かなり専門的な内容となることや、個別のケースによってさまざまであるため、このマニュアルには記載していません。
詳細をお知りになりたい場合は、以下を参照ください。

●精密検査医療機関について

- ・高知大学医学部附属病院耳鼻咽喉科
http://www.kochi-ms.ac.jp/~hsptl/guidance/medical/m_otolaryngology.html

●難聴児の療育機関について

- ・高知県立療育福祉センター 通園事業部 難聴児通所支援「ポニー」
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/060302/ryouikuhukusi-tsuen-ponii.html>

●教育機関（相談学級、幼稚部～高等部）

- ・高知県立高知ろう学校
<http://www.kochinet.ed.jp/ro-s/>

●難聴児の療育・教育について（参考資料）

- ・全国早期支援研究協議会の出版物

参照 <http://www.soukisien.info/archives/gpublication/>

1. 『きこえない！』でも、大丈夫 ―疑問と悩みにこたえる Q&A60―
（旧「新・『お子さんの耳がきこえない』と言われたら」）
（主に高度難聴：診断されたときに、親に対して必要な情報が書かれています）
2. 「新版・きこえにくいお子さんのために―聴覚障害サポートハンドブック軽度・中等度難聴編」
（軽度・中等度難聴：診断されたときに親に対して必要な情報が書かれています）
3. 「どうすればことばが育つか 9歳の壁を越えるために」
（2~3歳になったころに必要な情報が書かれています）

- ・難聴児支援教材研究会の出版物

参照 <http://www.nanchosien.com/>

「難聴児はどんなことで困るのか ―豊かな心とことばを育むために―」
（療育を開始したころに知りたい情報が書かれています）

●補聴器、人工内耳

- ・日本耳鼻咽喉科学会 子どものみみ・はな・のどの病気 Q&A

<http://www.jibika.or.jp/citizens/handbook/mimi9.html>（補聴器）

補聴器装用が必要な高度難聴であることがわかった場合、なるべく早期に補聴器装用を開始する必要があります。

- ・日本耳鼻咽喉科学会 人工内耳について

<http://www.jibika.or.jp/citizens/hochouki/naiji.html>

（人工内耳は、補聴器の装用効果が認めにくい場合などに選択されます）

●難聴児の子育て、生活や就学、進学に関して

（運営者の方には、快く掲載許諾をいただきました）

- ・「難聴キッズがやってきた！」

難聴キッズ（感音性難聴のお子さん）のお母さま（高知在住）のホームページ

<http://welcome.home-pao.com/>

- ・「きこえ」や「ことばの発達」情報室

（新生児聴覚検査を含め、体験談や資料があります）

<http://www20.big.or.jp/~ent/index.html>

